

東南アジア諸国連合（ASEAN）の加盟国内を流れるメコン河で、アジア開発銀行（ADB）主導で進む「大メコン圏経済協力プログラム」に基づき、大メコン圏（GMS）（Greater Mekong Subregion）経済回廊の整備が1992年から始まって28年がたつ。

GMS経済回廊の整備が進んでいることを示すかのように、2000年から直近までのASEAN域内貿易額は約3～3.5倍増加しており、国内総生産（GDP）をはじめ、他の経済指標を含めて軒並み高い水準で推移している。

PC橋梁得意とし、これまで国内外で4500橋以上を施工してきた当社はGMSでも交通網整備の一役を担い、域内の経済発展に寄与してきた。東西経済回廊の要であるタイ・ラオス

## GMS経済回廊整備

三井住友建設



メコン川に架かるネックルン橋  
(つばさ橋)



## 高度な技術で地域貢献

ラックフェン新国際港に架かる橋



道路工事を17年に完成させた。当社は総延長のうち、5・4キロに及ぶ橋梁を急速施し、海上架設の約4・4キロ区間は13カ月で完成させた。

ベトナムで初となるPC箱桁（プレキャスト）橋であり、世界的にも最大級となる支間長60メートルをスパンバイスパン架設工法で施工。その基礎にはベトナムでは初となるネガティブフリクション対策鋼管杭、ベトナムで2例目となる鋼管矢板井筒基礎など、高度な技術を数多

く用いた。

本案件はベトナム企業2社とのJVで施工し、当社の施工した工区でも約1000人のベトナム人技術者を配置。海外経験豊かな20人の日本人をリーダーに、ベトナム人の建設技術や組織管理育成にも取り組んだ。現在、新型コロナウイルスの流行で世界的に経済は停滞を余儀なくされているが、建設業については施工が中断し待機者が出たり、作業員同士の間隔を大きく取り効率が低い施工を強いられたりしている。

だがそのような環境でもリモート技術を進化させ安全な施工・監理を行つ仕組みが発展しつつあり、コロナ禍でも次なる経済発展への貢献に向け当社は前進している。

当社はこれからも政府開発援助（ODA）による国際協力とともに、これまでに培ってきた技術で人々をつなぎ、ASEAN地域に住む人々の暮らしに寄り添って経済発展に貢献し続け

プロジェクト便り

海外建設協会

◆ ASEAN各国